

令和2年度 生活支援コーディネーター初任者研修 募集要項

1 目的

東京都内の各区市町村において高齢者の社会参加や生活支援の充実にに向けたコーディネート機能(多様な協議の場づくりや資源開発、ネットワーク構築等の機能)を果たすことが求められる生活支援コーディネーター等に対し、活動に当たっての基本理念や具体的な取組、資源開発の手法等に関する知識及び技術の習得・向上を図る研修を実施することにより、各区市町村における生活支援体制整備事業の推進を支援することを目的とします。

2 実施主体

東京都福祉保健局 高齢社会対策部 (以下「都」という。)

※研修実施機関 : 社会福祉法人東京都社会福祉協議会(以下「東社協」という。)が都より委託を受けて実施します。

3 受講対象者

東京都内の区市町村の生活支援コーディネーター、区市町村職員等。ただし、区市町村からの推薦を受けた方とします。なお、平成27年度から平成29年度までに実施した「生活支援コーディネーター養成研修」を受講された方、また平成30年度・令和元年度に本研修を受講された方は対象外とさせていただきます。

4 研修日程・募集定員

コース名	研修日程	時間	募集定員
Aコース	【1日目】 10月8日(木)	いずれも 10:00~17:00 (予定)	90名
	【2日目】 10月9日(金)		
Bコース	【1日目】 10月26日(月)		
	【2日目】 10月27日(火)		

※ Aコース、Bコースは同じ内容となります。

5 実施方法

WEB会議ツール「Zoom」によるオンライン開催

※カメラ・マイク付きのパソコンをご用意ください。タブレット・スマートフォン等での受講も可能ですが、なるべくパソコンでの受講をお願い申し上げます。ご用意が難しい場合、PCルーム(受講者にレンタルのパソコンを使用していただく会議室)をご案内いたしますが、定数を超えた場合お断りさせていただくこともあります。PCルームを希望される方は、「受講者推薦票」に記載してください。PCルームは新宿区内を予定しておりますが、希望人数に応じて会場が異なるため、受講決定通知の際にご連絡いたします。

※当日使用する資料、URL、パスワード等は受講者へ直接メールにて後日ご連絡いたします。資料は事前に各自印刷してご用意ください。

6 推薦方法及び提出期限

受講者の推薦の有無に関わらず、「受講者推薦票」【別紙】をメールにて、東社協宛に送付してください。

提出期限 : 9月11日(金)【必着】 提出先 : tokyo-seikatsushien@tcsw.tvac.or.jp

7 推薦に当たっての注意事項

- (1)「受講者推薦票」は、区市町村における推薦順位の高い順にご記入ください。なお、推薦が定員を超えた場合、第2希望の日程となる場合や、受講できない場合がありますのであらかじめご了承ください。
- (2)本研修受講に当たっては、事前課題を作成いただきます。受講決定通知書とあわせて、9月中旬頃にお送りし、10月2日(金)【締切】でご提出いただくことを予定しております。提出までの期間が短くなっておりませんが、あらかじめご承知おきください(お取組みいただく事前課題シートは、東社協ホームページ <https://www.tcsw.tvac.or.jp/activity/lsc-kensyuu.html> にも掲載いたしますので、必要に応じてご参照ください)。
- (3)PCルームでの受講を希望する場合、(オ)欄に○を記入するようお願いいたします。

(4)本研修では、研修当日及び研修後の生活支援コーディネーター業務におけるネットワークづくりに活かしていただくため、「受講者推薦票」(ア)欄の「所属」「氏名」及び(イ)、(エ)欄にご記載いただいた内容を掲載した受講者名簿を配付する予定です。あらかじめご了承ください。

※ 提供いただいた個人情報は上記「1 目的」に関すること以外には使用しません。

8 受講者の決定通知

9月中旬に都が受講者の決定を行い、その決定に基づき東社協から区市町村に通知します。

9 受講料 無料

10 研修プログラム ※今後、内容や構成等を一部変更する場合があります。

研修時間	科目名		形態
【1日目】 10:00～17:00	オリエンテーション		
	東京における生活支援体制の整備と各区市町村の状況		講義 情報交換
	住民主体の地域づくりの理念と実践	○生活支援コーディネーターの実践報告	事例検討 質疑応答
		○事前課題の共有	意見交換
		○住民主体の地域づくりの意義と考え方	講義
1日目の振り返り	○私のアクションプラン1「気づき」の作成	質疑応答 演習	
【2日目】 10:00～17:00	オリエンテーション		
	地域づくりの全体像を理解する	○地域づくりの全体像について ○生活支援コーディネーターの動き方・視点～地域づくりの展開プロセスに沿って	講義 事例検討 意見交換
	まとめ	○私のアクションプラン2「行動計画」の作成	質疑応答 演習

研修時間 12時間

【講師】両コース共通

1日目：和田 敏明 氏(ルーテル学院大学 名誉教授)

岡村 美花 氏(社会福祉法人武蔵村山市社会福祉協議会 武蔵村山市南部地域包括支援センター)

2日目：藤井 博志 氏(関西学院大学 人間福祉学部 社会福祉学科 教授)

浦田 愛 氏(社会福祉法人文京区社会福祉協議会 地域福祉推進係・地域連携ステーション(フミコム))

11 その他

(1)やむを得ない事情により、受講日程(コース)を変更せざるを得ない時は、事前に東社協にご相談ください。

申込み状況によっては、変更できない場合もありますので、ご了承ください。

(2)各研修日ごとにアンケートを実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。

(3)修了証は発行しませんので、あらかじめご了承ください。

12 問い合わせ先

東京都社会福祉協議会 地域福祉部 地域福祉担当(渡部・高橋・高須)

〒162-8953 東京都新宿区神楽河岸1-1 飯田橋セントラルプラザ5階

電話 03(3268)7186 E-mail tokyo-seikatsushien@tcsw.tvac.or.jp